

アジア・オセアニア高校生フォーラム

7月30日から8月3日にかけて、自ら考え、発信・行動し、グローバル社会で活躍できるリーダーを育成することを目的に、第2回アジア・オセアニア高校生フォーラムが開催されました。県内外の高校生とアジア・オセアニアの国や地域の高校生が、共に喫緊な世界共通の課題について意見交換、プレゼンテーション、文化紹介等を行い、5日間にわたるプログラムで交流を深めました。

【参加者一覧】

県内高校 12校	県立橋本高等学校、県立那賀高等学校、県立向陽高等学校、県立桐蔭高等学校、県立海南高等学校、県立耐久高等学校、県立日高高等学校、県立田辺高等学校、県立新宮高等学校、開智高等学校、智辯学園和歌山高等学校、和歌山信愛高等学校
県外高校 5校	千葉県立千葉東高等学校、神奈川県立相模原中等教育学校、栃木県立佐野高等学校、京都市立西京高等学校、広島女学院高等学校
海外 20か国/地域	インド共和国、インドネシア共和国、オーストラリア連邦、カンボジア王国、シンガポール共和国、タイ王国、大韓民国、台湾、中華人民共和国、トルコ共和国、ニュージーランド、ネパール連邦民主共和国、フィリピン共和国、ブルネイ・ダルサラーム国、ベトナム社会主義共和国、香港、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、モンゴル国、ラオス人民民主共和国

●オリエンテーション●

海外からの参加者を対象にオリエンテーションが行われました。20の国と地域の生徒・教員が一堂に会し、一気に国際的なイベントが始まったなという雰囲気。実行委員会から、フォーラムの概要説明や、和歌山県の紹介が行われました。

●ホームステイ●

海外からの参加者は星林高校の生徒の家庭で、一泊のホームステイを経験しました。最初はお互い緊張した面持ちでしたが、すぐに打ち解けられたようです。もっと一緒にいたかったという声が多く聞かれました。メールアドレスやSNSを交換し、将来の再会を約束していました。

●世界遺産研修ツアー●

和歌山が誇る世界遺産・高野山への研修ツアーが行われました。星林高校の生徒が案内役を務め、壇上伽藍・金剛峯寺・奥の院などの見学や、伝統的な精進料理や阿字観の体験をしました。県外や海外からの参加者は、独特の雰囲気やその歴史に圧倒されていました。往復のバスの時間もコミュニケーションを深める機会になったようです。



●開会式●

多くの観客や来賓の方々が見守る中、開会式が行われました。制服や民族衣装を着た参加者達でステージは華やかに。仁坂知事からは“本音で議論し、競争し、協力してください”という言葉がありました。また、生徒代表による“明るい未来のために共に行動しましょう”という力強い開会宣言がありました。

